



2024年2月14日

各位

会社名 株式会社 ユビキタス AI  
代表者名 代表取締役社長 長谷川 聡  
(コード 3858、東証スタンダード市場)  
問合せ先  
役職・氏名 執行役員 財務経理部長 芦谷 耕司  
電 話 03 - 5908 - 3451

### 業績予想及び中期経営計画の修正に関するお知らせ

当社は、2023年5月15日の「2023年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました2024年3月期(2023年4月1日から2024年3月31日)の連結業績予想、及び中期経営計画(2023年3月期～2025年3月期)を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

中期経営計画の修正につきましては、添付資料をご参照ください。

#### 記

#### 1. 2024年3月期 連結業績予想の修正(2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益
前回予想(A)	2,912	20	20	5	0円48銭
今回修正(B)	3,443	150	148	97	9円27銭
増減額(B-A)	530	130	128	92	
増減率	18.2	652.0	642.0	1,848.2	
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	1,938	△84	△76	△148	△14円17銭

#### 2. 業績予想修正の理由

##### 売上面の理由

2023年10月2日に株式取得により連結子会社化した株式会社グレープシステムの売上によるものであります。

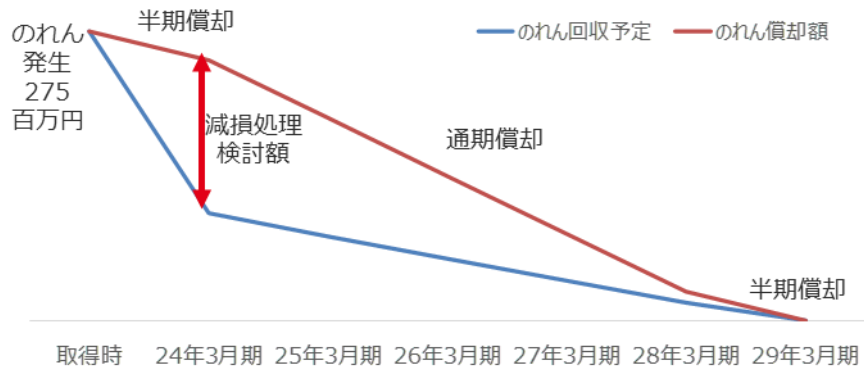
##### 損益面の理由

営業利益、経常利益につきましては、株式会社グレープシステムの影響(注)によるものであり、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、上記に加え、投資有価証券売却益による増加であります。

##### (注) 営業利益予想額に関する、のれん償却の影響について

株式会社グレープシステム株式取得に伴い発生するのれんは、同社が将来稼得すると予想される営業利益の額から、5年定額による償却を見込んでおりますが、同社は下期偏重の事業特性があり、2025年3月期以降の通期営業利益が、2024年3月期(2023年10月1日～2024年3月31日)の営業利益を大きく下回る可能性があるため、2024年3月期末において、2025年3月期以降4年6カ月間の同社の通期営業利益予想額と同期末ののれん簿価とを鑑み、減損処理を行う可能性があります。

〈 のれん簿価の推移 〉



※本資料に記載されている業績目標は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。そのため、様々な要因により、実際の業績が目標及び予想と異なる可能性があります。

以上

# 修正中期経営計画



製造業顧客が必要とする  
テクノロジー・サービスを提供する会社

2027年3月期目標値  
売上：5,000M  
営業利益：10%

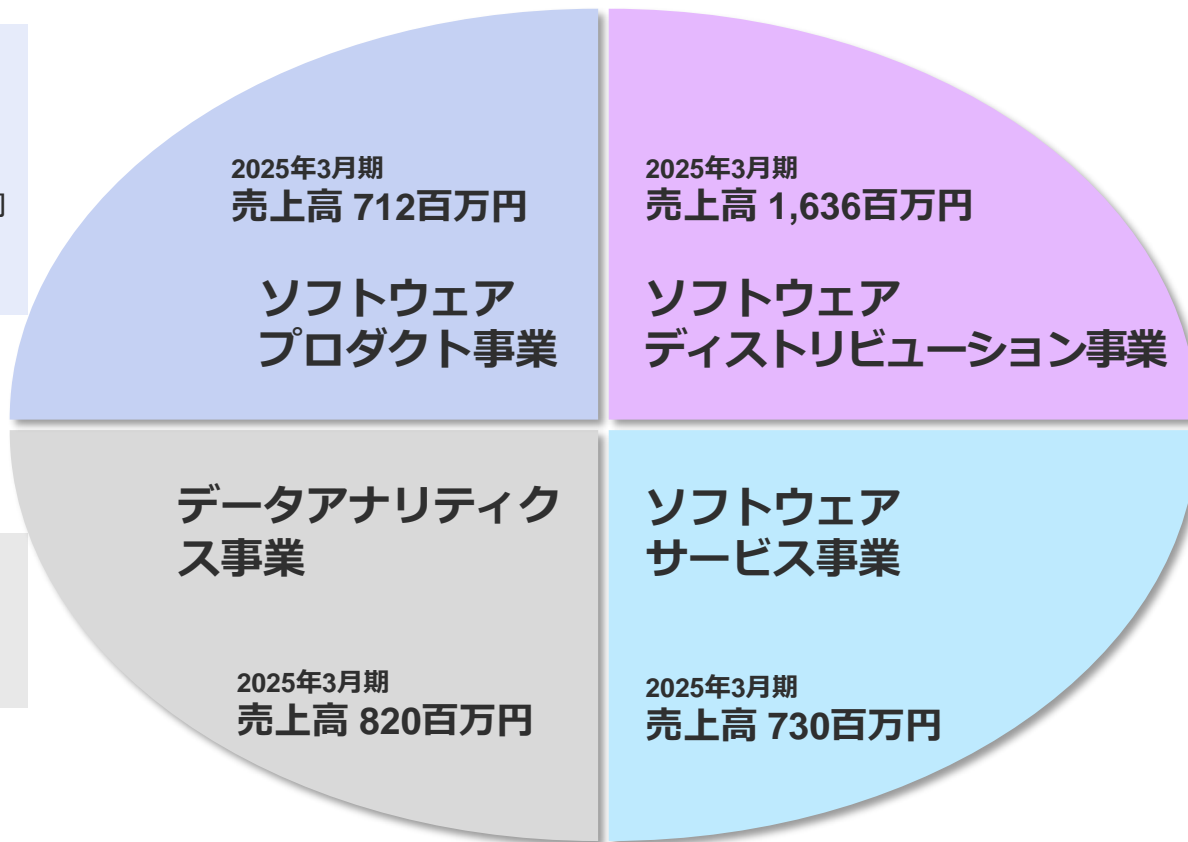
組込みソフトウェア会社としての事業基盤強化と、  
B2B Tech Biz Platformの取組による事業成長を  
実現



# 事業分野別目標

- 高速起動製品を収益の核とした事業展開、製品力・収益強化に必要なR&D（半導体・OS対応）を推進し、車載機器を中心にLinux/Android搭載機器向けに幅広く展開
- 自動車・IoT分野を中心とした組込み機器向けネットワーク・セキュリティ関連製品の展開を、パートナー協業を含めて推進

- パッケージ製品を中心とした安定した売上
- AIの普及に伴いニーズが高まる統計などのデータ解析機会の増加に対する確実なアプローチ



- 海外製新商品獲得を推進し売上を拡大
- ソフトウェア開発品質向上支援ツールの取扱拡充とサイバーセキュリティ重要増に対応するサービス事業の強化
- 海外パートナーとの強固な関係構築による長期的な販売権の確保と日本のニーズに合わせた製品化

- M&Aに伴う受託開発売上の追加と、開発体制強化によるグループ全体での案件獲得増を実現する

製造業顧客に必要なテクノロジー・サービスを提供する会社として  
製造業向けビジネスプラットフォームによる「場」の提供を通じた事業成長を実現

2025年3月期に連結売上高3,900百万円、営業利益40百万円（のれん償却前100百万円）  
2027年3月期に売上高5,000百万円、営業利益率10%以上を目指す